

いこい通信

復刊
第1号
2018年9月

発行 一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

いこい通信 復刊にあたって

「いこい通信」は、2014年8月から2018年3月の間、宮城県仙台市内に駐在していた「浪江町復興支援員宮城県駐在」発行の情報紙として、福島県外に避難されている浪江町民の皆様の状況や各種支援情報等を発信するため発行されていました。

避難元自治体による支援活動の縮小に伴い、一旦発行を取りやめていましたが、この度、宮城県内で避難者支援にあたられている方々に、福島県の復興の現状や福島県外避難者の置かれている状況、宮城県内における支援活動の様子等をお伝えする情報紙として、「一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム」を発行者として復刊することとなりました。

宮城県内における復興が一定程度進み、復興支援・避難者支援への関心が薄れていく一方で、福島県からの避難者の置かれた状況は、避難生活の長期化に伴い複雑さを増しています。中には、避難先自治体による支援が必要なケースも出てきています。自らの意思に反して全国への分散避難を余儀なくされた方々が、避難先で適切な支援につながっていく。その一助になれば幸いです。

一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム
事務局長 高田 篤

発行者について

東北圏地域づくりコンソーシアムは、地域コミュニティの自立・再構築のための人材育成や政策づくり、コミュニティ支援に関する調査研究等を行うために2008年5月に設立されました。

東日本大震災発災後は、復興に取り組む住民団体や、自治体により配置された「復興支援員」等と連携して、住民主体の地域コミュニティ再生・復興まちづくり活動や、住民と自治体との協働プロセスを支援してきました。福島県からの県外避難者支援事業もこのような活動の中から生まれてきました。

【連絡先】

一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム
〒984-0065 宮城県仙台市若林区土樋 254
ニューメゾン土樋 201
電話：022-353-7550 FAX：022-397-7230
メール：info@tohokuconso.org
Web：http://tohokuconso.org/

復興公営住宅入居者の
外出機会づくり
(椿のたねっこひろいツアー)
(復興みなさん会(南三陸町)
との連携事業)



北海道・東北ブロックの
福島県外避難者支援団体間
情報交換会の開催

避難者の声を聞き取り
発信する「浪江のこころ
プロジェクト」
(福島県浪江町役場との
連携事業)

